

## 「令和6年能登半島地震」の支援に向けて

令和6年1月  
日本商工会議所  
会頭 小林 健

このたびの「令和6年能登半島地震」により、亡くなられた方々、そのご家族、ご親族、関係者の皆様に対しまして、謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、大変な状況の中で懸命に救助活動ならびに復旧活動にあたられている皆様に対し、心から感謝申し上げます。

被災地の商工会議所では、自らも被災する中で、4日から順次、特別相談窓口を設置し、被災企業の相談対応を開始しています。長期に亘ったコロナ禍や度重なる災害によって、心が折れてしまうような思いを抱く方も多くいらっしゃる中で、商工会議所が先頭に立ち、伴走支援を行っていくことは、地域、企業にとって大変心強いものと存じます。被災地の商工会議所、そして役職員の皆様のご対応に、心より敬意を表します。

12日には、被災地へのお見舞いと激励、そして全国の商工会議所が総力をあげて支援を行っていく決意を直接お伝えするため、まずは石川県、富山県の県連機能を有する金沢、富山の両商工会議所を訪問しました。少し時間はかかっていますが、甚大な被害が生じている能登地域にも必ずお伺いします。被災地の声に耳を傾け、「現場主義」「双方向主義」を貫き、被災地が真に求める支援活動の展開とともに、適切なタイミングでの国への要望活動に繋げてまいります。

日本商工会議所では、一日も早い復旧・復興に向け、一次対応として全国の商工会議所に義援金募金へのご協力をお願いを発出したところです。また、現在は救助・生活支援が最優先というステージではありますが、状況が落ち着いてくれば、そのステージは事業者支援へと移ってまいります。

全国の商工会議所におかれましては、被災地において、大変な状況の中でも前を向いて懸命に活動されている仲間思いを馳せつつ、義援金へのご協力とともに、今後、経営指導員の応援派遣などの人的支援や事業再建支援など、全国のネットワークを活かした支援活動が必要になってまいりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本商工会議所としても、東日本大震災や熊本地震など、過去に学んだ教訓や経験を活かし、被災地ならびに被災企業の再建、被災地の商工会議所の復旧に向け、力強く、そして息長く支援を継続していくことを約束いたします。